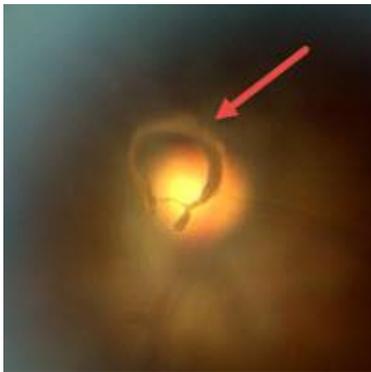




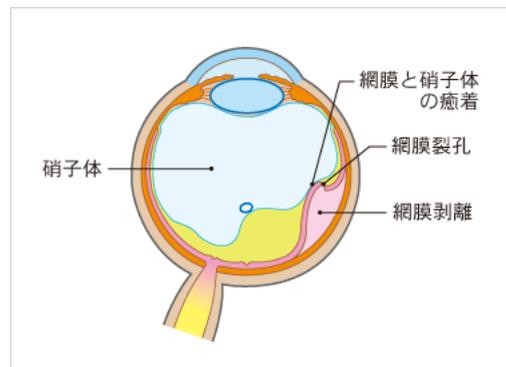
その飛蚊症、大丈夫？

虫なんていないのに、虫が飛んで見える飛蚊症。虫だけじゃなく、輪っかや糸くずといった見え方も含めて、全て飛蚊症といいます。飛蚊症の多くは問題がない生理的飛蚊症と呼ばれるものです。また、加齢に伴って 60~70 歳ごろに急に出来るものは後部硝子体剥離と呼ばれる加齢変化に付随して生じる飛蚊症です。こちらもほとんどは問題ありませんが、中には後部硝子体剥離に伴って網膜に穴が開き、放置すると網膜剥離になってしまうケースもあります。網膜に空いた穴（網膜裂孔）は、レーザー治療により網膜剥離への進行を 90%防ぐことが可能ですが、放置するとほぼ確実に網膜剥離に進行します。

その飛蚊症が放置してもいい物かどうか、散瞳検査を行って、眼底を隅々まで診察する必要がありますが、散瞳検査を行うと 4~5 時間運転ができません。気になる方はご家族やご友人の送迎、もしくは徒歩で来られるか、当院の無料送迎車をご利用ください。また、散瞳検査は散瞳剤点眼後 20 分ほどして診察を行いますので、時間に余裕をもってお越しください。



画像参照：後部硝子体剥離に伴う飛蚊症の実体



網膜裂孔と網膜剥離 画像参照：●天製薬

令和 5 年 8 月 21 日 かしま眼科